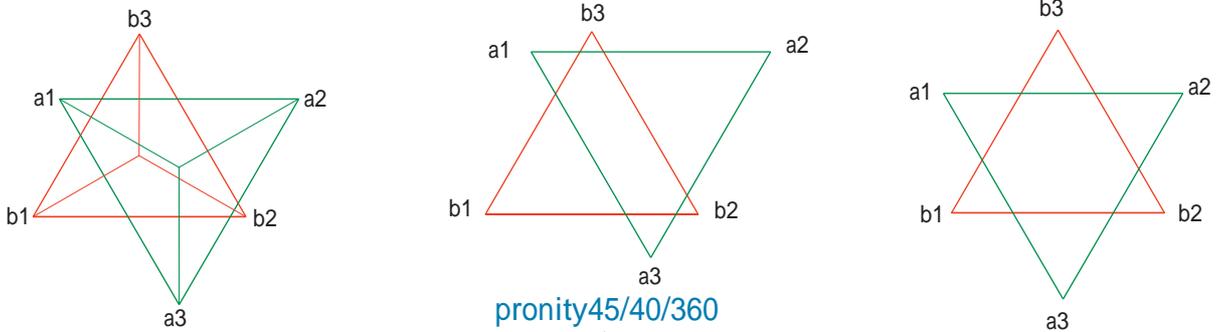
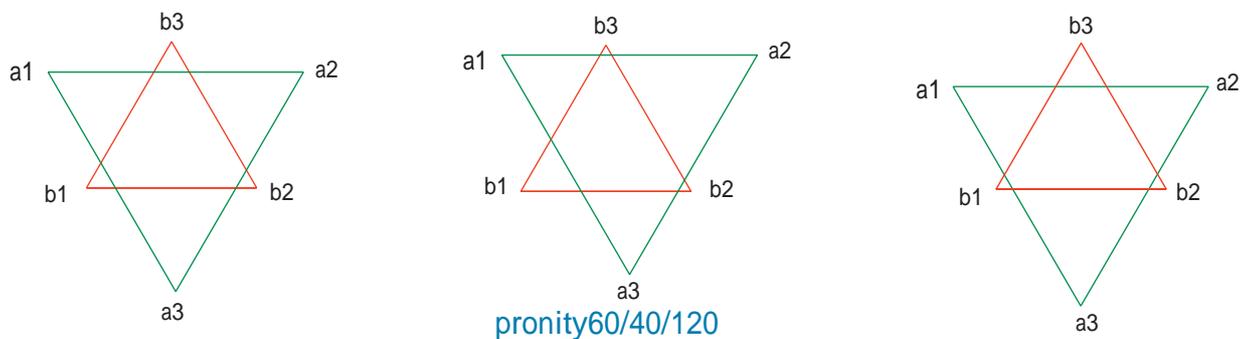
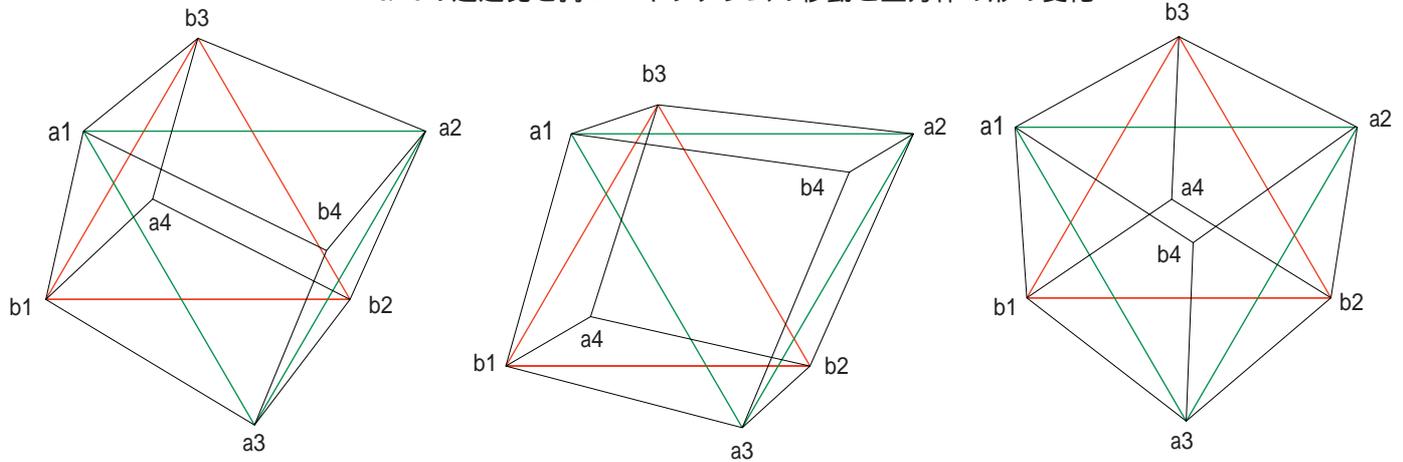


2つの正三角形の相対距離と位置による立方体の形の変化

ヘキサグラムを構成する2つの正三角形の相対的な大きさの比は、空間の遠近比を表し、2つの正三角形の相対的な位置は視点の位置を表します。この3次元空間に配された2つの正三角形の頂点を結ぶ線分は、必然的に奥行きをもつ放射線となり、立方体の視覚次元での奥行きを持った形となります。これは立方体の稜線と立方体の対角線からなる2つの正四面体との物理構造から生まれる関係で、ヘキサグラムはその関係を表す抽象的な図形です。



45/40の遠近比を持つヘキサグラムの移動と立方体の形の変化



60/40の遠近比を持つヘキサグラムの移動と立方体の形の変化

